

第 63 回建築人間工学小委員会研究会

「トイレの建築人間工学－多様なユーザーに応えるには」

多くの人々が利用する駅やショッピングセンターなどの空間において、我が国では多機能トイレを含むトイレ施設の整備が進んでおり、2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、ますます整備が進むことが予想される。

このような状況の中、面積も広くアクセスが容易であるという理由のため、車いす使用者の他にもベビーカーを伴う利用者等多機能トイレを利用するようになっている。さらにはLGBT（性的少数者）に対する配慮も要求されるようになりつつある。多様なユーザーが快適にトイレ空間を利用するために、混雑緩和やトイレ機能の分散といった課題への取り組みが必要となっている。本研究会は多様なユーザーの利用を考慮した公共トイレのあり方について、建築人間工学及びユニバーサルデザインの視点から、国内外の法的基準の状況、ならびに研究成果や事業者における最新の取り組み事例を紹介し、今後の整備に向けた方向性を討議するものである。

主 催： 建築計画委員会 計画基礎運営委員会 建築人間工学小委員会

日 時： 2017年5月22日（月）13：30～17：00

会 場： 建築会館会議室（港区芝 5-26-20）

<プログラム（予定）>

司会 布田健（国土技術政策総合研究所） 記録 嶋田拓（明野設備研究所）

1. 主旨説明 田中直人（島根大学、WG主査）

2. 主題解説

1) 公共トイレの整備基準の動向と社会の取り組み 長谷寛（日本レストルーム工業会、TOTO）

2) 公共トイレのUDの試み

①大型ショッピングセンターでの試み－設計者の立場から 老田智美（NATS環境デザイン）

②高速道路サービスエリアでの試み 軍記伸一（中日本高速道路）

3) 多様なユーザー像から見たトイレのあり方 日野晶子（LIXIL）

3. 討議 コーディネータ 田中直人（前出、以下同）、長谷寛、老田智美、軍記伸一、日野晶子、布田健

参加費： 会員 1,000 円、会員外 1,500 円、学生 500 円（資料代含む／当日会場払い）

定 員： 50 名（申込み先着順）

申込方法： Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1788> よりお申し込みください

申込問合せ： 日本建築学会事務局 事業グループ 榎本

TEL : 03-3456-2051 E-mail : enomoto@aij.or.jp